

国語科 学習指導案

東大阪市立弥刀小学校
指導者 橋本 佳祐

1. 日 時 令和6年11月14日(木) 第5時限 14:15~15:00
2. 場 所 第3学年1組教室
3. 学年・組 第3学年1組(38名)
4. 単元名 生き物についての考えを深めよう「カミツキガメは悪者か」(東京書籍・三年下)

5. 単元の目標

- (1) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
[知識及び技能] (2) ア
- (2) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。
[思考力、判断力、表現力等] C(1)ア
- (3) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つことができる。
[思考力、判断力、表現力等] C(1)オ
- (4) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
[思考力、判断力、表現力等] B(1)ウ
- (5) 言葉のもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

6. 本単元で取り組む言語活動

事典や図鑑などから情報を得て、分かったことを『外来生物図鑑』にまとめる。

7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2) ア	①「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 C(1)ア ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C(1)オ ③自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ	進んで文章を読んで筆者の考えを捉え、学習の見通しを持って生き物について考えたことを説明しようとしている。

8. 指導にあたって

(1) 児童観

省略

(2) 教材観

本教材は、外来種であるカミツキガメが日本に棲みつくことの問題について、筆者の経験や調べた内容をもとに書かれている文章である。

本教材は全②段落で構成されており、「始め」、「中」、「終わり」も分かりやすく、「始め」には二つの問いの文がある。

また、「中」の部分については、大きく前半部分と後半部分に分かれている。前半部分は③④⑤⑥段落、⑦⑧⑨段落、⑩⑪⑫⑬段落と大きく3つに分かれており、③④⑤⑥段落には、「カミツキガメは気が荒くて、近づくものにはかみつく」ため「とても危険である。」と、筆者がこれまでに聞いていたイメージが書かれている。また、⑦⑧⑨段落には、筆者が実際に観察して見たことを事実として、「臆病だ」という考えを述べている。そして、⑩⑪⑫⑬段落には、一生懸命に生きて、子孫を残そうとしているが、日本にはいてはいけない生き物だということについて書かれている。このように、前半部分は、③～⑥で「今までに聞いていたこと」を根拠に、抱いていたカミツキガメのイメージと、⑦～⑬で「実際に観察したこと」から感じた実際のカメの印象を対比的に述べることで、カメに対する印象や考え方が変わったことを印象付ける順序性に筆者の説得性がある説明文だと考える。

そして、後半部分は、⑭⑮段落、⑯段落、⑰段落に分かれている。⑭⑮段落には、実際に現地の人の証言をもとに、カミツキガメによる被害の具体例について書かれている。また、⑯段落には、カミツキガメの被害を減らすために、捕まえて取りのぞいていると、対策方法が書かれている。そして、⑰段落には、ペットにするために連れてこられ、人が放してしまったというカミツキガメが増加した原因について書かれている。このように、後半部分には、被害や対策などについて、カミツキガメが「日本の自然にはいけない」動物であることを強く感じられる文章となっている。カミツキガメに寄り添って書かれている前半部分に対して、筆者の知る情報からより俯瞰的に書かれているため、タイトルにもあるように「カミツキガメは悪者か」どうかを考えるために前半と後半を比べながら読み進めることができると感じる。前半部分と後半部分を通して、筆者の考えが、印象や経験、知識などのさまざまな理由や事例に支えられていることを読んだり、見つけたりすることに適した教材である。

そして、最後にはカミツキガメについて、「悲しい生き物」と書かれている。このことから、筆者の主張をより深く読むことができる。ただ単に「日本の自然にはいけない」ことが「悲しい」のではない。「カミツキガメは一生けん命生きて」の文に注目することで、「一生けん命に生きて」いるにもかかわらず、そこに、「いてはいけない」という二つの要因が関係するところに、筆者の主張する「悲しさ」を読み取ることができる。

また、児童の多くは、テレビ番組やインターネットを通じて、外来種についての何らかの印象や情報を持っていると考えられる。しかし、そのほとんどが「外来種は生態系を壊す」という生態系への悪影響と、「その原因は人間だ」という人間の責任について語られることが多い。さまざまな外来種がどれも似たような内容で語られているうちに、私たちの認識は固定化され、結果として、外来種への問題意識が薄まってしまうこともある。

だが、筆者は、一般的な印象に流されることなく、自らの目で観察し、カミツキガメが一生懸命に生きている姿を見つける。この「一生懸命に生きている姿」と「日本にはならない状況」の二つを抱えていることが、カミツキガメの悲しさの理由である。このことは外来種の問題を考えるための重要な切り口となり、児童の固定概念を壊し、新たな認識へと向かうことができる教材だと考える。

(3) 指導観

本単元では、単元指導事項を〔思考力・判断力・表現力等〕の「C 読むこと」(1)オ「文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。」としている。そのためには、「C 読むこと」(1)ウ「段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え」たことを踏まえて、自分の考えをもてるようにすることが大切である。そこで、言語活動を「事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどを『外来生物図鑑』にまとめる。」に設定した。学習のまとめとして、『外来生物図鑑』を児童たちと作成していく。事典や図鑑を読んで、カミツキガメ以外の外来生物について分かったことや考えたことを、その理由を明らかにして書く活動を行う。そこで大事に指導していきたいことが主に次の三点である。

1つめは、「ノートに考えをまとめる。」ということである。本単元目標でもある、感想や考えを持つことを大切にするためにも、友だちに伝える前に読んで思ったことや考えたことを、自分の言葉で一度ノートに整理させる。例えば、筆者の考えでもあるカミツキガメは「幸せではない」や「悲しい生き物」という考えは、どの文章から分かることなのか、また、その文章から自分はどんなことを思ったのかをノートにまとめることで、友だちに上手く伝えるためのツールとしていきたい。自分の言葉で書きまとめていくことを積み重ねて、他の外来生物に対しても、自分の思いを書ける

ようにしたい。

2つめは、「筆者の考え」「理由」「事例」を意識させることである。本文の中に、筆者の考えや考えを支える理由や事例についての文章が出てくる。その文章が何に当てはまるのかを「筆者の考え」「理由」「事例」などのカードを作り、板書で整理しながら児童と確認していきたい。事前学習として、p92, 93に載っている「情報のとびら 考えと理由」も取り扱う。自分の考えを相手に分かってもらうために、理由が大切であることを学習することで、本單元における「筆者の考え」と「理由」や「事例」の関係性に着目させやすくする。また、第4時から第7時までには、カミツキガメについての事例が多数書かれているので、それをロイロノートでまとめるなどして、児童自身が見つけて整理できるようにもさせたい。そうすることで、『外来生物図鑑』においても、自分の考え、事例などを整理しながら作成できるようにしたい。

3つめは、「考えを共有する。」ことである。全体交流の場面では、全員の考えをすぐに共有することが難しい。そこで、考えを共有するために「ロイロノート」を活用する。授業の終わりに書いた振り返りの写真を撮り、毎時間、提出箱に提出させる。それにより友だちがどんなことを書いていたかを確認することができる。友だちの振り返りを読むことで、友だちの様々な考えを知ることができ、新たな発見につながってほしいと考える。また、文章の書き方やまとめ方が上手な児童は、教師側から全体に伝え、お手本とすることで、「真似してみたい。」など、児童どうして書く力を伸ばしていくことにも期待している。そして、「自分の振り返りも紹介されたい。」など書く意欲にもつなげていきたい。何よりも、友だちの良いところを見つけ合うことで、友だちが書いたことに対して、否定的になるのではなく、認め合える学びの環境づくりをしていきたいと考える。

9. 単元の指導と評価の計画 (全14時間) ◎…記録に残す評価 ○…指導に生かす評価

時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ●初発の感想を書く。 ・作品の範読を聞き、感想を書く。 		◎②		説明文を読んで、感じたことや考えたことを自分の言葉で書き表している。 【思・判・表②】 〈行動観察・ノート〉
2	<ul style="list-style-type: none"> ●初発の感想を交流する。 ・前時に書いたものをもとに交流する。 			○	学習の見通しを持って、初発の感想で考えたことや思ったことを伝えようとしている。 【主】 〈行動観察〉
3	<ul style="list-style-type: none"> ●段落に題名をつける。 ・「始め」「中」「終わり」に分ける。 ・説明文の大まかな内容を捉える。 	○			筆者の考えとそれを支える理由や事例をもとに段落ごとに題名をつけている。 【知・技】 〈行動観察・ノート〉
4	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者は、カミツキガメをどんな生き物として伝えているかを読み取る。 ・①②段落を読み、分かったことや考えをノートにまとめる。 		◎①		段落相互の関係に着目しながら、筆者の話題提示や問いの文などについて、叙述を基に捉えている。 【思・判・表

				①】〈行動観察・ノート〉
5	<p>●カミツキガメに対する筆者の印象について読み取る。</p> <p>・③④⑤⑥段落を読み、分かったことや考えをノートにまとめる。</p>		○①	カミツキガメに対する筆者の印象と、それを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。【思・判・表①】〈行動観察・ノート〉
6	<p>●筆者が考えるカミツキガメの特徴について読み取る。</p> <p>・⑦⑧⑨⑩段落を読み、分かったことや考えをノートにまとめる。</p>		○①	カミツキガメが臆病であるという筆者の考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。【思・判・表①】〈行動観察・ノート〉
7	<p>●カミツキガメが日本にはいけない生き物だと言われていることについて読み取る。</p> <p>・⑪⑫⑬段落を読み、分かったことや考えをノートにまとめる。</p>		◎①	カミツキガメが日本にはいけない生き物だという筆者の考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 【思・判・表①】〈行動観察・ノート〉
8	<p>●前半部分のカミツキガメについてまとめる。</p> <p>・今までの学習で分かった事例と考えの関係をロイロノートでまとめる。</p> <p>・事例や考えのカードを作りつなげていく。</p>		◎	カミツキガメに対しての筆者の考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係をロイロノートでまとめることができる。【知・技】〈行動観察・ロイロノート〉
9	<p>●カミツキガメの被害や対策の事例について読み取る。</p> <p>・⑭⑮⑯⑰段落を読み、分かったことや考えをノートにまとめる。</p>		○②	カミツキガメの被害や対策について、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。【思・判・表②】〈行動観察・ノート〉
10 本 時	<p>●筆者が考えるカミツキガメの悲しさについて読み取り、自分の考えをもつ。</p> <p>・⑱⑲⑳段落のカミツキガメについて内容を捉える。</p> <p>・カミツキガメは悪者か考え、筆者の考えや事例をもとに、自分の考えをまとめる。</p>		◎②	筆者の考えやカミツキガメの事例に対して、自分の感想や考えを持っている。 【思・判・表②】〈行動観察・ノート〉

1 1	●他の外来種について調べる。 ・図鑑やインターネットから調べる。			◎	事典や図鑑を読み、外来生物について調べようとしている。【主】〈行動観察・ロイロノート〉
1 2	●他の外来生物についてまとめる。 ・どのように日本に入ってきたか、環境に与える影響をや問題をまとめる。			○③	事典や図鑑に載っている外来生物の事例を基に、自分の考えを書いている。 【思・判・表③】〈行動観察・ロイロノート〉
1 3	●他の外来生物についてまとめる。 ・どのように日本に入ってきたか、環境に与える影響をや問題をまとめる。			◎③	事典や図鑑に載っている外来生物の事例を基に、自分の考えを書いている。 【思・判・表③】〈行動観察・ロイロノート〉
1 4	●他の外来生物についてまとめたことを伝える。 ・ロイロノートにまとめたことを友だちに伝える。			○	外来生物について友だちの発表を進んで聞こうとしている。【主】〈行動観察〉

10. 本時の展開（10/14時間目）

(1) 本時の目標

- ・筆者の考えやカミツキガメの事例に対して、自分の感想や考えを持つことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・筆者の考えやカミツキガメの事例に対して、自分の感想や考えを持っている。【思・判・表②】

(3) 展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5分導入	1. めあてを確認する。	・今までの事例について確認する。	
	◎筆者が「悲しい生き物」だと呼ぶ理由を見つけよう。		
35分展開	2. ⑱⑲⑳段落を音読する。 ペア→一人→全体	・本文の大事などところを見つけながら読むよう伝える。	
	3. 筆者が「悲しい生き物」と呼ぶ理由を読み取る。	・本文の文章や言葉から考えたことや思ったことをノートに書くよう伝える。 <予想される児童の反応>	

	<p>4. 交流する。 ペア→全体</p> <p>5. 追発問について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一生けん命生きているけれど、日本の自然にはいてはいけないといわれているから。 ・人に外国からつれてこられたから。 ・つかまえて、取りのぞかれるから。 <ul style="list-style-type: none"> ・「聞き方ピラミッド」を意識するよう声掛けする。 ・「事例」「理由」「筆者の考え」を明確に捉えられるように、板書で分類・整理する。 	
<p>カミツキガメは本当に「悪者」だろうか。</p>			
<p>5分まとめ</p>	<p>6. 振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの「事例」や「筆者の考え」を基に考えるように伝える。 ＜予想される児童の反応＞ ・カミツキガメは悪くない。人が連れてきたからかわいそう。 ・カミツキガメは悪くない。筆者と同じで、飼うとき責任を守ることが必要。 ・カミツキガメは悪くない、理由は一生けん命に生きているだけだから。 <ul style="list-style-type: none"> ・「筆者の考え」や本文の「事例」を基に、感想を書くよう声掛けする。 	<p>「読むこと」において、筆者の考えやカミツキガメの事例に対して、自分の感想や考えを持っている。</p> <p>【思・判・表②】 〈行動観察・ノート〉</p>

(4) 本時における具体的な児童の状況（※本時の評価規準に関わる場面において）

おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況（C）への支援
<p>カミツキガメが「悲しい生き物」と言われている理由や筆者の考えを根拠に、自分の考えを書いている。</p> <p>【思・判・表②】</p> <p>◎「ぼくは、カミツキガメは悪者ではないと思います。理由は、筆者と同じでカミツキガメは、一生けん命に生きているだけだからだと思います。」</p> <p>◎「わたしは、カミツキガメは悪者ではないと思います。なぜかという、人がはなしてふえてしまって、カメではなく人のほうが悪いと思ったからです。」</p>	<p>本文の筆者の考えやカミツキガメが「悲しい生き物」と言われる理由だと思ふところに線を引くように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそこに線を引いたか理由を聞く。 ・線を引いたところに対して思ったこと聞く。 <p>【思・判・表②】</p>

(5) 板書計画

